

令和2年度 学校経営シラバス

市立函館高等学校

【校訓】 【校歌】	「何を求める」 「夢ここにあり」
めざす学校像（3本の柱）	本校の教育活動全般で育成する10の資質・能力 「市函ディプロマ・ポリシー」（「市函DP」）
<ul style="list-style-type: none"> ○進学重視型単位制高校 ○人間性を育てる伝統を継承・発展 ○郷土の歴史を受け継ぎ、未来を拓く学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎力 ○思考力 ○主体的学習力 ○傾聴力 ○自己理解・自己管理能力 ○他者理解力 ○計画実行力 ○発信・表現力 ○ストレスコントロール力 ○実践力
「市函プライド」をもって、世界に目を向け、これからの時代を生き抜くことのできる生徒を育成する。」	

職対	象	中 期 目 標	今 年 度 の 目 標	目 標 達 成 の た め の 評 価 の 観 点
教育活動	学習指導	○主体的に学ぶ意欲と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業改善、特に「深い学び」による思考力・判断力・表現力等の育成 ○探究活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導方法・発問方法・評価方法の工夫・改善は進んだか。 ○シラバスの効果的な活用と公開授業や生徒による授業評価を通じた授業改善は進んだか。 ○各種テスト等の結果分析を有効活用したか。 ○「函館学」や「総合的な学習の時間」における探究的な内容を円滑に実施・評価し、改善の方策を立てたか。
	生徒指導	○望ましい生活習慣の確立と豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談の充実 ○自主性協調性の育成 ○規範意識の醸成 ○いじめの未然防止と適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○SCとの連携、ピアサポートの充実は進んだか。 ○自己有用感、自己肯定感を味わう各種行事の工夫や生徒会活動の充実は図られたか。 ○市民性（18歳選挙年齢への対応等）の育成は図られたか。 ○交通安全指導（自転車指導）の充実やネットトラブル等の未然防止は十分に行われたか。 ○小さなサインを見逃さないよう、面談週間を有効活用できたか。
	キャリア教育	○自己理解を深め、主体的に自らの力で進路を切り拓く能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア発達を促す教育活動を充実させる ○進路実現のための組織的・継続的な支援 ○ガイダンス機能の充実 ○地域や関係機関との密な連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の視点を踏まえた進路指導に係るノウハウの継承と充実は進んだか。 ○模擬試験等の分析とその結果を踏まえた講習体制を構築できたか。 ○生徒・保護者への適切な進路情報等の提供による進路意識の高揚を図られたか。 ○外部人材等を有効に活用できたか。
	健康・安全指導	○健康で豊かな高校生活を営むための健康・安全指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○生命尊重、人権尊重の精神と安全意識の高揚 ○望ましい学習環境づくりと健康の保持・増進 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な教育相談体制、個別対応が図られたか。 ○健康調査・診断等を通じた健康状態の的確な把握と健康相談活動がなされたか。 ○校舎、校地内の環境整備や美化活動、ゴミ分別・リサイクル活動は適切に行われたか。

学校経営	信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○教育の成果を保護者・地域等と共有できる学校づくり ○学校評価等を活用した不断の改善 ○安心・安全な学校環境の整備 ○不祥事防止 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者懇談や学校HP、各種便り等の充実による学校理解の推進 ○学校評価の内容の充実と適切な実施 ○危機管理意識の高揚 ○サービス規律の保持 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者懇談やHP等が有効に活用され、情報発信が充実し、学校理解が深化したか。 ○学校評価の充実とマネジメントサイクルの適切な運用がなされたか。 ○正常な教育活動を阻害する危機の未然防止が図られるとともに、生徒の安全を最優先した学校施設設備の補修等は進んだか。 ○地震・津波に対応した防災訓練の実施は円滑に行われたか。 ○新聞報道等を活用した日常的な意識啓発がなされたか。
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○協働体制の確立 ○業務環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校課題の明確化と教職員による共有 ○業務改善の取組の進展 	<ul style="list-style-type: none"> ○部長主任会議、各種委員会等の活性化と課題を明確にした個別面談ができたか。 ○新たな校務システムへの移行が円滑に行われたか ○函館市教委「教職員の業務改善のための取組」モデル事業や道教委のアクションプランに基づいた業務改善の取組が適切に行われたか。
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○専門性の向上 ○適格性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修及び授業改善等の一層の充実 ○メンタルヘルス ○サービス規律や危機管理に対する意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究・研修事業 ○教員免許更新 ○人事評価の活用 ○高大接続改革の研究 ○ストレスチェック活用による職場環境の整備を行ったか。 ○使命感・倫理観の日常的な啓発とサービス規律の保持について啓発したか。